

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)乙第 32 号	氏名	道祖尾 弦
学位審査委員	主 査 蒔田 直昌 副 査 北岡 隆 副 査 永田 泉		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、水平方向の加速度を感知する平衡機能の検査法である自覚的視性垂直位 (subjective visual vertical: SVV) 検査が、左右単眼視による検査を要するのか、両眼視による検査でよいのかを明らかにしようとするもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 一側性聴神経腫瘍による高度前庭機能障害患者 31 名と健常人 20 名で、左右単眼視と両眼視で SVV 検査を行い、その結果を統計学的に解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、患側眼での SVV が正常だった一側性聴神経腫瘍患者 12 人においても、異常だった 19 人においても、健側単眼視、患側単眼視、両眼視の検査結果に有意差を認めなかった。以上の結果から、卵形囊の前庭機能障害は両眼視のみの検査で十分異常を検出できることが示された。本研究は、SVV 検査の迅速化と患者の負担軽減に貢献すると考えられ、今後の耳鼻咽喉科学研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は耳鼻咽喉科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			